



め ず る 梅 豆 羅



令和8年6月12日
浜玉中学校通信 No.6
校長 吉村 典浩

《学校教育目標》「好き」を育て、「良さ」を伸ばす
《目指す生徒像》新たな時代を切り開く生徒の育成

浜玉中学校が長年すすめている人権学習の柱となる2つのテーマがあります。1つ目は、平和学習で特に特攻やそれにまつわる人々についての学習です。2つ目はハンセン病にかかわる人権問題についての学習です。今月、この2つのテーマにかかわる学びを得る機会がありましたので紹介します。

〇〇さん命日訪問

浜玉町出身の〇〇さんは先の大戦で特攻隊員としてわずか20年の生涯を終えました。知覧の平和特攻会館に遺影や遺品が展示されています。かつて本校で勤務していた M 先生が吉森さんのことを知ったことがきっかけで、毎年吉森さんの命日が近づくとご自宅を訪問させていただいています。命日訪問は、もう10年以上続いています。今年も生徒会本部役員の生徒が訪問させていただきました。ご遺族の方がたくさんの遺品や当時の写真・お手紙などを準備していただき拝見させていただきました。

訪問する中学生と何ら変わらない若者であった〇〇さんのあまりに短い生涯を知ること、戦争の悲惨さと平和の大切さを考えるきっかけにもらいたいと願ってこの取り組みを続けています。

本校では、1年生の時に特攻基地があった大刀洗の平和記念館を訪問して平和学習を始め、3年生の修学旅行で知覧を訪問してさらに学習を深めていきます。



たくさんの遺品や写真、お手紙を見ていただき、お話をうかがいました。



菊池恵楓園 太田自治会長様講演

国立療養所・菊池恵楓園自治会長の太田明様が本校を訪問され生徒に向けた講演を行っていただきました。

浜玉中と菊池恵楓園との交流は20年以上続いています。バス研修で恵楓園を訪問したり手紙のやり取りをしたりなど本校の先輩たちが続けてきた取り組みが、今回の訪問・講演会へとつながりました。

講演では、太田会長のこれまでの歩みが紹介されました。ハンセン病の発症により小学2年生から療養所に入所し、一度は完治して社会人として活躍していたところに再発。療養所に入所しなければ治療できないという当時の制度により再入所。そして平成8年のらい予防法撤廃へと向かう活動について話していただきました。「人権とは一人一人の命の大切さを考えること。」この言葉を何度もおっしゃいました。

ハンセン病の問題を学ぶことで、形を変えた「排除や偏見」に出会ったときにも正しく知ること、正しく判断することで誤った道に進むことを止められると思います。今年も2年生が菊池恵楓園を訪問する予定になっています。



◆ 唐津市教育の日（ふれあい道德）について ◆

6月14日(日)は、唐津市教育の日となっています。本校においては、午前中を授業参観とし、ふれあい道德を実施します。人数制限等はいませんので、ご家族でお越しください。午後は、浜玉町青少年育成大会が本校体育館にて開催され、生徒意見発表や記念講演が行われます。今回は、午後も保護者の皆様の参観が可能となっています。

【午前中】授業参観の時間（各教室）

1 時間目	8:35～9:25	} どの時間帯も 参観可能です ←ふれあい道德
2 時間目	9:35～10:25	
3 時間目	10:35～11:25	

【参観にあたってのお願い】

当日は、事前に連絡をいただければ、本校に関係のない一般の方も参観可能となっています。そこで、学校安全確保のために、参観にあたってのお願いがあります。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

- ・正面玄関での受付の際に、直径2cmの●赤いシールをお渡しします。
- ・校内では、●赤いシールを、左胸あたりに目立つように貼ってください。
- ・●赤いシールがない方は、お声をかけさせていただく場合があります。



【午後】浜玉町青少年育成大会（本校体育館）

意見発表 13:30～

浜崎小、玉島小、平原小、浜玉中から各1名発表

教育講演会 14:20～15:20

演題：吹奏楽の魅力 ～音楽の持つ力と人生～

講師：吹奏楽団唐津音工房の皆様

内容：1) 音楽との出会い・音楽の力について

2) 吹奏楽の魅力いっぱいの演奏

3) 浜玉中学校吹奏楽部との合同演奏